

「消火栓用ホース」を安全にお使い頂くために

設置または交換の工事を行う前に必ず本書をお読みください。(本書の内容は必ず防火管理者へお伝えください)

本書において△警告の付いた文章は重大な人身事故を生ずる危険が存在する警告であり、△注意は重大には至らないが同様の危険が存在する注意事項です。安全に使用して頂くために必ずお守りください。

なお、「消火栓用ホース」とは消防用設備のうち、「泡消火設備」、「屋外消火栓設備」、「連結散水設備」、「連結送水管」、「動力消防ポンプ設備」に設置された消防用ホースをいいます。屋内消火栓設備に使用している屋内消火栓用ホースについては、「屋内消火栓用ホースを安全にお使い頂くために」をご参照ください。

1. 開梱上の注意

刃物の使用禁止△警告

ダンボールのテープは刃物を使用せず手で外してください。消火栓用ホースを結束している紐等も、刃物を使用せず必ず手で外してください。刃物を使用した場合、誤って消火栓用ホースを傷つけ、消火栓用ホース破断による重大な人身事故が生ずる恐れがあります。

2. 設置・交換工事の注意

(1) 工事者の制限△警告

消火設備の設置工事は消防設備士、消防用ホースの交換工事は消防設備点検資格者または防火管理者等、消防設備の知識を有する防火対象物の関係者が実施してください。消火栓用ホースの接続方法を誤ると重大な人身事故が生ずる恐れがあります。

(2) 性能の限界△警告

- a. 消火栓用ホースに表示された使用圧以内で使用してください。過大な圧力は消火栓用ホースの破断や金具の吹き飛び等により重大な人身事故が生ずる恐れがあります。
- b. 消火栓用ホースは、コンクリートやアスファルト上での操法訓練では注意が必要です。過大な使用条件は消火栓用ホースの摩耗、損傷や破断につながります。
- c. 硬くて重いものを消火栓用ホースの上に落とすと、床面と落下物の間で消火栓用ホースの内張り材が損傷を受けますので避けてください。金具などの硬いもので消火栓用ホースを強打すると、外側のジャケットにはほとんど痕跡がないのに内張り材が損傷を受けて漏水することがあります。

3. 使用上の注意

(1) 敷設・展張時の注意△注意

櫛がけの状態のまま使用することなく、消火栓箱からホース全部を引出して使用して下さい。消火栓のバルブ元付近や廊下の角での急角度の曲げを避け、大きな円弧を描くように消火栓用ホースを敷設・展張してください。

(2) 放水時の注意△注意

消火栓用ホースの展張状態が上記(1)項の状態であり、消火栓用ホースがV字状になってないことや消火栓用ホースの上に障害物等がないことを確認し、展張した消火栓用ホースが満水になるまではできるだけ低圧で送水し、満水後に昇圧してください。また、放水中のノズル並びに吐水口の開閉操作はゆっくり行ってください。急激な開閉操作を行うと送水中の圧力の数倍の衝撃圧力が消火栓用ホース内に発生し、消火栓用ホースの飛び跳ねや、破断して重大な人身事故が生ずる恐れがあります。

(3) 撤収時の注意△注意

撤収時に消火栓用ホース内に水が残った状態でV字状に折り曲げたまま引きずると、新品の消火栓用ホースでも容易に穴があいてしまいます。消火栓用ホース内の水を抜く際には、展張した消火栓用ホースを引きずらないようにして水を抜いてください。また、消火栓用ホースをまっすぐにする際は、消火栓用ホースを長手方向に引っ張り、消火栓用ホースがV字状になるような方向に引きずらないようにして巻き上げてください。

(4) 安全の確保△警告

万一の破断事故に備え、放水作業時には直接放水活動に携わっている方以外は、消火栓用ホースから離れるようにしてください。また、一般の人が消火栓用ホースに近寄らないよう、措置・誘導を行ってください。消火栓用ホースの上を車輛等が通過する場合は、ホースブリッジを使用してください。車輛等が直接消火栓用ホースの上を通過すると水の流れが急に止められて、衝撃圧力で消火栓用ホースが破断して重大な人身事故が生ずる恐れがあります。

4. 保守上の注意

(1) 点検者の制限△警告

消火設備の点検は消防法令に基づき、一定の防火対象物にあつては消防設備士または消防設備点検資格者、その他の防火対象物は防火管理者等、消防設備の知識を有する防火対象物の関係者が実施してください。消火栓用ホースの点検方法を誤ると重大な人身事故が生ずる恐れがあります。

(2) 点検の実施△警告

使用後は必ず外観点検を行い、ジャケットの糸切れが生じた場合には、その消火栓用ホースを使用せず、すみやかに新しい消火栓用ホースに交換してください。消火栓用ホースは使用しなくても経年劣化を起こしますので、消防法令に基づく定期的な点検が必要です。消火栓設備の技術基準と点検要領に則り、消火栓用ホースの「外形(外観)点検」と「機能(耐圧性能)点検」等を実施してください。

消火栓用ホースの外傷や金具装着部の損傷は、消火栓用ホースの破断や金具の吹き飛び等による重大な人身事故が生ずる恐れがあります。詳細につきましては一般社団法人日本消防ホース工業会のホームページをご参照ください。

(3) 保管方法△注意

使用後は洗浄し、消火栓用ホース内部に水を残さないように乾燥させてから、すみやかに消火栓ボックスへ収納してください。

一般社団法人日本消防ホース工業会

ホームページ : <http://www.jfh.jp/>

TEL&FAX : 03-3245-1777

東京都中央区日本橋二丁目1番10号 柳屋ビル 帝国繊維(株)内